



# 弱視通級だより

見え方の相談  
支援センター  
岐阜県立岐阜盲学校  
通級担当: 森田・石博

長かった2学期も終わりが近づいてきました。

11月1日(土)には、岐阜盲学校の文化祭において「視覚障がい者スポーツ体験会」がありました。通級指導の児童も2名が参加し、岐阜盲学校の児童と一緒にゴールボールを体験しました。夏休み中の鶴飼観覧で会った児童と関わる場面もあり、楽しむことができました。

今年度も残すところあと3か月となりました。通級としての取組の成果をまとめ、次年度につなげていきたいと思えます。



## 視覚補助具などの活用について

弱視通級指導での主な学習内容として「視覚補助具やICT機器の使い方を身に付けるための学習」があります。見えやすく疲れにくい環境で学習をするために、それぞれの見え方や使用場面に合わせて補助具を選び、使い方を学んでいきます。

学校では座席の位置や教材の拡大などの配慮があるので、授業のなかで補助具を使う必要があまりないかもしれませんが、将来、社会に出て生活する際には必要になることも多いです。今のうちから、どんな補助具があって、自分には何が必要なのか知っておくことが大切です。

盲学校や弱視通級指導で使っている視覚補助具などを紹介します。

### 単眼鏡



遠くのものを見るために使います。見るものに素早くピントを合わせたり、動いているものを見続けたりするためには練習が必要です。黒板の文字を映すときや、校外学習で見学するときなどに活用できます。

### ルーペ



近くのものを見るために使います。倍率や形、機能(ライト付き)が様々にあります。教科書やプリントの小さい文字などを見たり、観察をしたりするときなどに活用できます。

### 書見台



目を近付けて読み書きする必要がある際に、姿勢を保つために書見台を使います。体を起こして、楽に読み書きできるようにします。

### 拡大読書器



テーブルの上に置いたものを拡大することができます。ルーペよりも高倍率で画面に映したり、大きさや白黒反転、コントラストを調整したりすることができます。

### タブレットなど



カメラ機能やアプリを使ったり、自分の使いやすい設定にしたりすることができます。タブレット上でデジタル教科書を使ったり、ノートテイクをしたりすることもできます。

### 拡大教科書



教科書会社やボランティアの作成するものがあり、自分の見え方に合わせて文字の大きさなどを選ぶことができます。通常の教科書より見やすい文字の大きさ、レイアウトになっています。

ある学校での通級指導の際、児童が教室に新しい補助具を持って帰ると「〇〇さんの“装備”が増えたね！」と在籍学級の児童に話しかけられました。“装備”という言葉に、通級の児童にとってパワーアップのために必要な道具という感じがして、そんなふうに見てくれているのかと嬉しく思いました。



ここに挙げた以外にも、見えにくさに応じた視覚補助具や、学習や生活に役立つ便利グッズなどもあります。「こんなところで困っている」「こんなときに使える道具がないかな」など、学校や家庭でも話題にさせていただき、必要なことがあれば通級担当者までお知らせください。